

Be A GIANT!! NEW BLUE WAVE.

WE ARE THE CHAMPIONS!!

学年主任メッセージ ～ Congratulations on your graduation, Good luck ! ～

ついに最終号です。長かったような短かったような…。思えば“波(73)”を創ろうとしてスタートし、未曾有の“(緊急事態発出という)波”の中、卒業の日を迎えました。特に最後の1年はおそらく誰もが経験してこなかった大きな波の中での時間だったと思います。その中で皆さんを見てみると、波に振り回されるのではなく、波の中を仲間と助け合いながら進んでいたように思います。頼もしい存在でした。そして、“明石高校初”を連発してくれました。まさに“新しい価値の創造”です。どのように困難な状況でも何かができるということを証明してくれました。

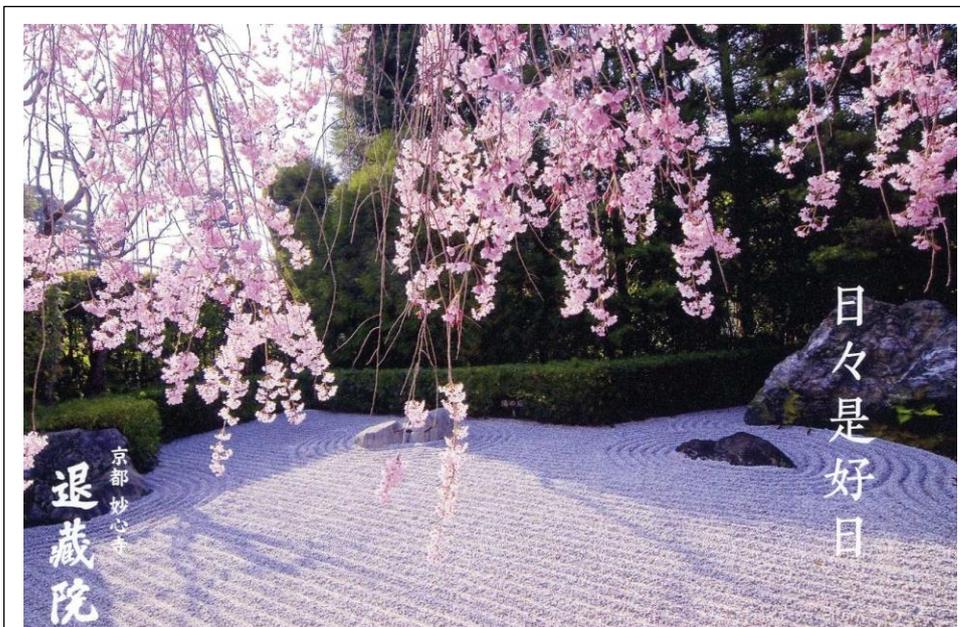
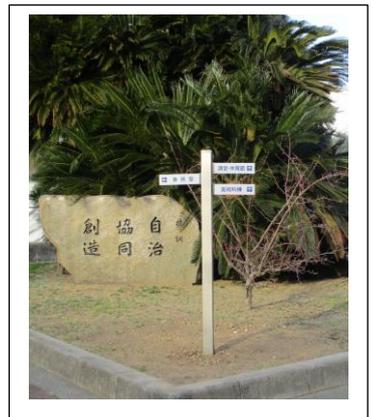
振り返ると、1年生の時の「大蔵海岸BBQ」、地域貢献(地域清掃)をしながら大蔵海岸へ行きBBQをするというものでした。地域貢献と大蔵海岸BBQをスタートさせたのはこの学年です。また、2年生の時の「妙心寺の座禅体験と嵐山散策」、座禅に取り組んだのも“初”の試みです。さらには、記憶に新しい体育大会で“自治賞”“協同賞”を3年生として獲得するという滅多にできないことも実現してくれました。この活躍は高校生活の締めくくりに向けて学年全体に勢いをつけてくれたと思います。素晴らしい活躍でした。美術科パリ研修旅行も普通科北海道修学旅行も実施できました。修学旅行で羊蹄山がこの学年ほど美しく見る事ができたことも滅多にありません。これらのことは、何事にも前向きに取り組もうとする皆さんの思いが実現させたことかもしれません。同時に、周りの方々への感謝も忘れてはいけません。特に皆さんの健康管理の面においては大きくお世話になっています。

ついでながら“明石高校初”ということをもう一つ、卒業生から学校への卒業記念品の紹介です。ここ数十年は、体育大会などで使用するテントを確保するため、テントと決まっていた。しかしようやくテントも必要数を確保でき、久しぶりにテント以外で選定させていただきました。これまで明石高校に来られた方は、どの建物がどこにあるのか戸惑われることがありました。

皆さんも「講堂に集合」といわれてもどこにあるのか良く分からないという経験をしたことのあるのではないのでしょうか。そこで、何とかできないかと考え“三方向案内板”を卒業記念品として選定しました。皆さんの卒業後も校内の案内をしてくれることになっています。2023年には明石高校創立100周年となります。この3年間の取り組みは100周年へ向けた大きな一歩となっています。

入学前に想像した3年間とは異なる展開となったかもしれませんが、明石高校で取り組んだことは、これからの人生の中で大きな糧となることと思います。よくがんばりました。

73回生のこれからの活躍を期待しています。皆さんとともに3年という時間を過ごすことができ良かったです。保護者の皆さまにおかれましても様々な場面でご協力いただきありがとうございました。感謝します。



Rain or shine , everyday is a good day. Accept everything as it is.

生徒会長メッセージ

73 回生の皆さん、この言葉を覚えていますか。「73 回生のナミ」、1 年生の 4 月、学年主任の山中先生が最初の学年集会で話された言葉です。私たちは知らず知らずのうちに他学年がしてこなかったことを最初に成し遂げ、波を起こしてきました。

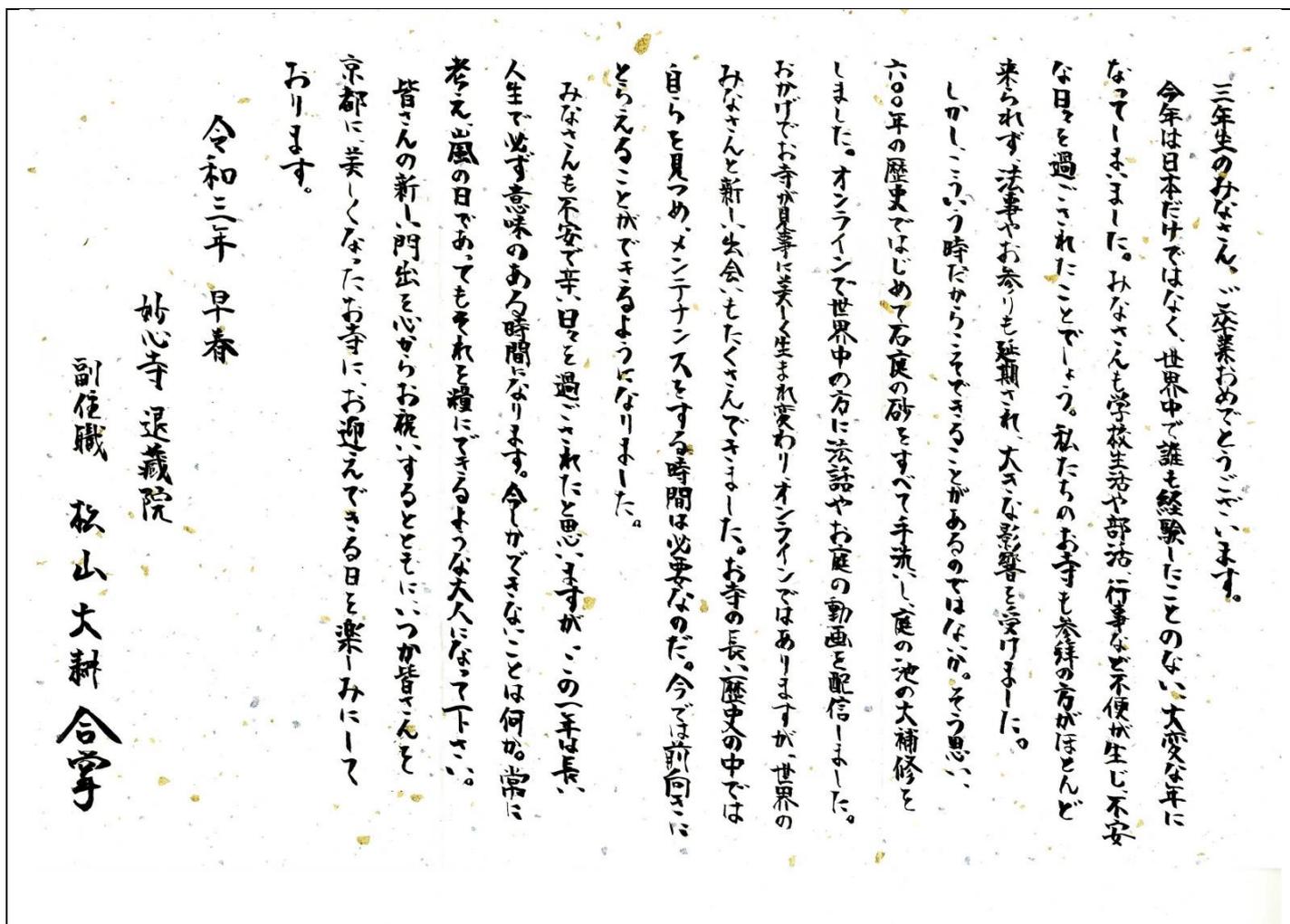
1 年生の遠足。例年は山登りで飯盒炊さんでしたが、私たちは地域貢献活動の一環として、清掃をしながら歩き、大蔵海岸でバーベキューをし、交流を深めました。この取り組みは新聞にも取り上げられました。

2 年生の遠足。例年は京都を散策するものでしたが、私たちはそれに加えて妙心寺での座禅体験をしました。

3 年生は残念ながら明高祭の中止。しかし、それをバネに体育大会で 3 年生の総合優勝。これは体育大会が開催されて以来の出来事です。

これからは大学生・社会人です。これからの荒波にもまれながらも 73 回生のナミを起こし、困難を乗り越えていきましょう。

それぞれの道にある桜の木を見上げ、希望を胸に抱え、明石高校を旅立ちましょう。



～ 2023 明石高校創立 100 周年 ～

これからの人生、成功することも失敗することもあるだろう。だが、諦めなければ失敗を次の成功に活かすことができる。どのような局面になろうと、明石高校は 73 回生を忘れることはない。それが初代校長山内佐太郎先生から続く“大家族主義”。

皆で皆さんを応援している。一度や二度の失敗に挫けず、前を向いて人生を充実させよう。それが校是“人格の完成”への道。



初代校長 山内佐太郎先生

“Catch the Wave!” “Make the Wave!”